障害児通所支援事業所　安全計画

社会福祉法人　子育ち・発達の里　　こころとそだちの支援室ぽーれ　児童発達支援事業所・放課後等デイサービス

◎安全点検

（１）事業所・設備・事業所外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
重点点検箇所	自主点検 施設内 施設外（庭・周辺道路、駐車場） 消防設備 ※随時、近隣公園、施設外療育施設（下見）	自主点検 日よけテント点検	自主点検 暑さ対策	自主点検 施設内	自主点検	自主点検 おもちゃ点検
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
重点点検箇所	自主点検 施設内 施設外（庭・周辺道路、駐車場） 消防設備 ※随時、近隣公園、施設外療育施設（下見）	自主点検 暖房設備点検	自主点検	自主点検 施設内	自主点検	自主点検 年度末環境整備 おもちゃ点検

（２）マニュアル策定・共有

分野	策定時期	見直し（再点検）予定時期	掲示・管理場所
防犯マニュアル	R5 年　４月	適宜	事務室
食中毒発生マニュアル	R5 年　４月	適宜	事務室
衛生管理マニュアル	R5 年　４月	適宜	事務室
事故防止マニュアル	R5 年　４月	適宜	事務室
危機管理マニュアル	R5 年　４月	適宜	事務室
業務継続計画（BCP）	R5 年　４月	適宜	事務室

◎児童、保護者に対する安全指導

（１） 児童、生徒への安全指導（事業所の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全など）

	４月～６月	７月～9 月	10 月～12 月	１月～3 月
児童発達支援	来所・帰所、外遊び等の日頃の生活の中で、安全な室内外での遊び方、道路などでの歩き方などの、安全に安心して過ごせる体験を積み重ねて、安全のためのルールを知っていく 各種訓練を職員と共に体験する（避難訓練６月・２月実施）			
放課後等デイサービス	放課後デイサービスのプログラムの体験の中で、交通安全や、安全に生活するためのルールについて学んだり、体験できるようにする。 定期的な各種訓練を通した体験の中で、防災の意識を高められるようにする（避難訓練６月・２月実施）			

（２） 保護者への説明・共有

４月～６月	７月～９月	10 月～12 月	１月～３月
安全計画を事業所内に掲示・保護者に周知 避難訓練 避難経路、災害時の対応に関する周知 防犯対策に関する周知			

◎訓練・研修

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
避難訓練等		不審者	救急	火災	豪雨・洪水	
その他		さすまた使用訓練 外部侵入者対策	救急救命講習 ・乳幼児の心肺蘇生法・AED の使用方法・異物除去・熱中症対応・予防	避難場所確認訓練、引き渡し訓練	垂直避難経路の確認	
月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
避難訓練等	豪雨・洪水			不審者	地震	
その他	垂直避難経路の確認			さすまた使用訓練 外部侵入者対策	避難場所確認訓練、引き渡し訓練	

（３） 訓練の参加者予定者（全員参加を除く）

訓練内容	参加予定者
防犯・豪雨・洪水	所長　管理者　児童発達支援管理責任者　職員
火災・地震・引き渡し訓練	所長　管理者　児童発達支援管理責任者　職員　当日利用の利用者とその保護者
救命・AED 講習	新入社員　職員全体

（４） 職員への研修・講習（事業所内実施・外部実施を明記）

4～6 月	7 ～9 月	10～12 月	1 月～3 月「
・虐待防止・身体化拘束適正化研修（職員・新採用） ・感染症および食中毒まん延防止研修（職員・新採用） ※外部研修は随時 →	・救命救急講習・AED 講習	・誤飲・事故防止研修	・感染症および食中毒予防・まん延防止研修

（５） 行政等が実施する訓練・講習スケジュール　＊所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモをする

山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者・虐待防止責任者コース） 甲斐市虐待防止研修 甲斐市総合防災訓練

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有方法等）

ヒヤリハット報告を随時記入、共有する。事故については原因分析・再発防止に向けて職員で話し合い、事故報告書を作成し、臨時会議を開き、職員で共有する。必要に応じて臨時の研修会を行うこともある。作成したヒヤリ・ハット・事故報告書を回覧し、全職員に共有する。

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取り組み、安全管理等）

・利用予定児童の急なお休みに対して、保護者への連絡を徹底する ・地域の方にも施設について知っていただくため、日頃から挨拶を交わし、法人のお祭り等へのお知らせをするなどし、関係を築く ・年１回地域の民生委員の方に来所頂き、施設における概要や利用者の特性を知っていただく機会をつくる